

令和4年度行政評価 施策評価シート (令和3年度実績)

施策名 疾病の予防・早期発見の推進

施策コード 5040402

1. 施策の担当	
主管課	健康福祉部 健康推進課
関係課	国保年金課

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第4章 すこやかで、ひとがつながり支え合うまちづくり(支え合い・福祉・健康)	節 第4節 健康・医療
	施策	疾病の予防・早期発見の推進	

基本方針

- ・疾病を未然に予防することの重要性について啓発するとともに、健康診査やがん検診の周知を図り、受診率を向上させ疾病の予防と早期発見に努めます。
- ・外来有害生物及び感染症について、迅速な情報提供を行い、知識の普及と注意喚起を図ります。また、感染症対策は、「感染症等健康危機管理対応指針」に基づき適切に実施します。

現況と課題

- ・健康診査、がん検診の受診率や高齢者インフルエンザ予防接種の接種率の向上に取り組んでいますが、更に受診率を向上させることが必要です。
- ・市民一人ひとりが生活習慣病予防の必要性を認識し、健康診査やがん検診を受診する行動につなげることが必要です。
- ・外来有害生物の侵入や新たな感染症を含め、感染症等への対策を充実する必要があります。

施策目標

対象(誰を、何を、どこを)

市民

意図(どのような状態にしたいのか)

健康寿命をのばし、生活の質の向上を図る。誰もが安心して充実した毎日を送ることができるよう、保健・医療・福祉施策の充実を図る。

3. 市民ニーズ							
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
満足度(偏差値)	58.0						
重要度(偏差値)	61.3						

4. 施策にかかるコスト								
	単位	R2決算	R3決算					
コストの内訳	人件費	千円	14,182	10,849				
	事業費		89,710	88,810				
	フルコスト		103,892	99,659				
財源内訳	国庫支出金	千円	1,973	1,579				
	府支出金		22,249	23,168				
	市債		0	0				
	その他		157	173				
	一般財源1(=フルコスト-特定財源)		79,513	74,739				
	一般財源2(=直接事業費-特定財源)		65,331	63,890				

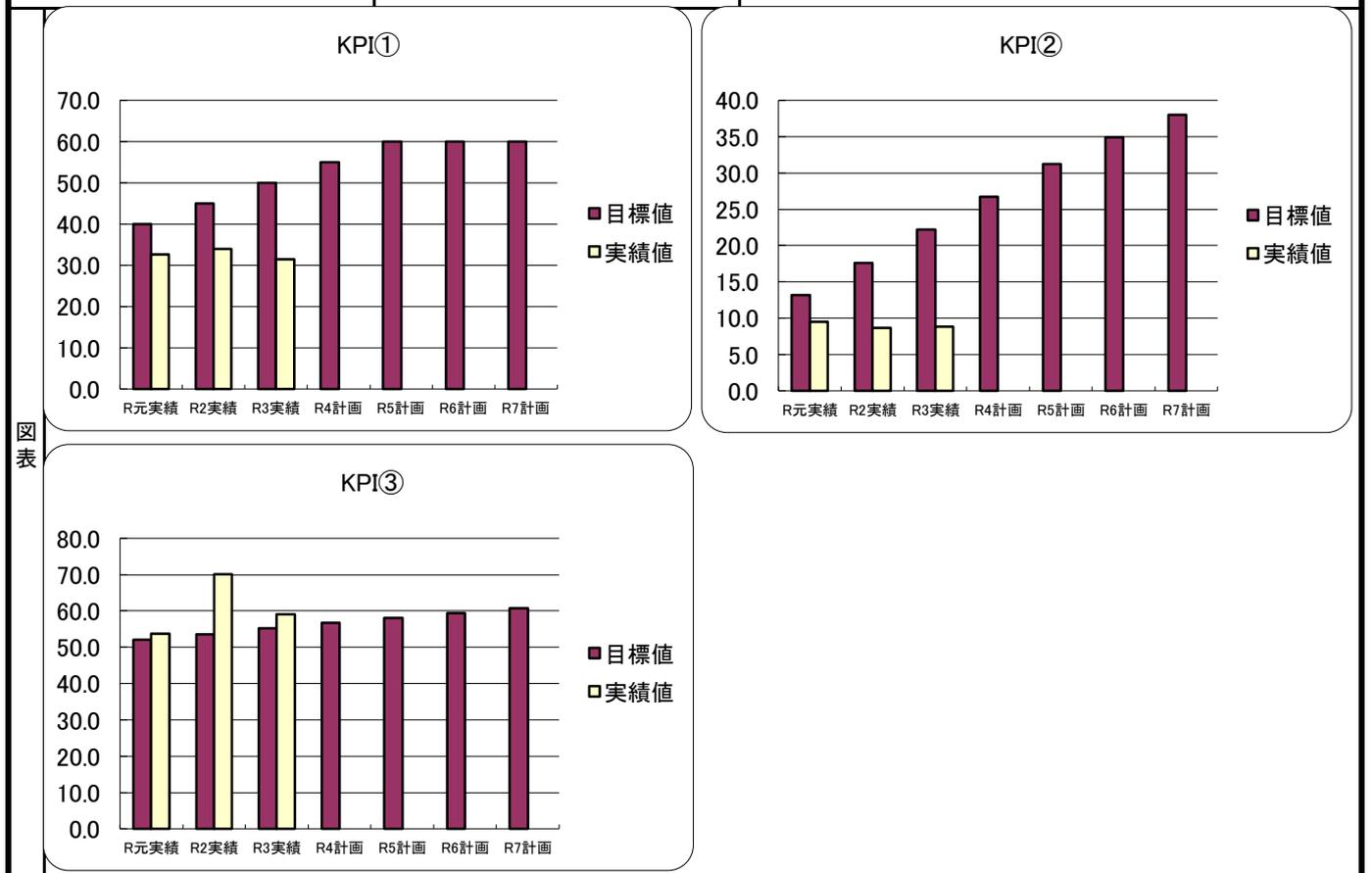
5. 施策の重要業績成果指標(KPI)							
① KPI 1 特定健康診査の受診率(国民健康保険被保険者)							
項目	R元実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5計画	R6計画	R7計画
目標値	40.0	45.0	50.0	55.0	60.0	60.0	60.0
実績値	32.7	33.9	31.5				
達成度	81.75	75.33	63.0				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
この受診率の増加により、生活習慣病の早期発見・疾病の予防の推進につながる。		「泉佐野市国民健康保険第三期特定健康診査等実施計画(H30~H35)」の目標数値。最終目標は国が掲げる目標受診率である60%とした。尚、実績値は評価対象年度の前年度の確定値を用いている。			市民の意志に左右されるものであるが、勧奨を強化して受診率の向上に努めており、例年同程度の受診率で大きな差がなく推移している。引き続き、実施方法やPRについても対策を講じる必要がある。		

② KPI 2		がん検診の受診率（胃・大腸・乳・子宮・肺がん検診の受診率の平均）					
項目	R元実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5計画	R6計画	R7計画
目標値	13.2	17.6	22.2	26.7	31.2	34.9	38.0
実績値	9.5	8.7	8.8				
達成度	71.97	49.43	39.64				

KPI設定の根拠	KPI目標数値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
この受診率の増加により、各がんの早期発見・疾病の予防の推進につながる。	国が目標とする受診率50%を最終目標値とした。	市民の意志に左右されるものであるが、受診率はほぼ横ばいで推移している。大阪府の受診率も全国で低いところにある。R3年度は新型コロナウイルス感染症の影響あるも、対前年比では微増した。

③ KPI 3		高齢者インフルエンザ予防接種の接種率					
項目	R元実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5計画	R6計画	R7計画
目標値	52.1	53.6	55.2	56.7	58.0	59.4	60.8
実績値	53.7	70.1	59.0				
達成度	103.07	130.78	106.88				

KPI設定の根拠	KPI目標数値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
接種率の増加により、市民の健康危機管理の推進につながる。	H29年度の実績値を基に、年間1.5%程度の接種率アップを目標とした。	接種率は比較的高い数値で推移している。市民の意志に左右されるものがあるが、R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり接種費用が無料となるなど拡充され接種率が増えたが、R3年度は拡充はなくなり接種率は伸びなかった。



6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 1	検(健)診の受診率は全国的に見た場合に大阪府は低いレベルにあり、泉州地域は中でも低い位置にある。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 3	健(検)診受診率は低い、継続的な受診者は多い。今後も未受診者に対する対策を強化し受診による疾病の早期発見の有効性を広く周知・啓発し、受診率を上げていく。新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、安心して受診できるよう努める必要がある。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	国において、特定健診はH29年度までに60%の受診率を目標として掲げられ重要視されているが、伸び悩んでいる。また、各がん検診についてもH21年度から国において乳がん・子宮がん検診について一定年齢の対象者への無料クーポン券による個別勧奨事業が展開されており、疾病の早期発見、早期治療や予防対策に重点を置いているものの国の目標値である50%に達するためには、受診率向上に向けて更なる工夫が必要である。
	合計点	(10点中) 7点	
	総合評価	B	健診受診率の向上は長年の課題であり、健診の重要性を理解してもらうとともに、健康意識の向上を図る必要がある。健康増進に携わる行政機関や、地域の医療関係団体が一層連携を深め、効果的に、住民への健診受診を働きかけるとともに、受診しやすい環境を整備していかなければならない。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)	B	受診率の向上を工夫すること。	
三次評価 (理事者による評価)	B	引き続き、受診率の向上を工夫すること。	

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			R3年度決算額			R4年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01027200	結核予防事業	1,512	2,385	2,385	0	B
2	01028000	健康増進健康診査事業	8,135	65,190	59,711	0	B
3	02050310	保健医療事業	1,202	21,235	1,794	0	B
合計			10,849	88,810	63,890	0	